



○ 第69回定例会

日時 : 令和3年5月26日(木) 13:00~16:30
場所 : オンライン開催(ZOOM)

定例会に先立ち総会が実施され、令和2年度決算、令和3年度予算(案)、規約改正、役員改選が議事にかけられ、満場一致で承認されました。

第69回定例会がオンラインで開催されました。講師に東京家政大学家政学部児童学科の堀科氏を迎え、「保育の環境構成を考える」とのテーマで講演が行われました。

『環境』という字から、保育にとっての環境とは何を指すのか。環境を通して行う教育・保育とは。物的環境、空間的環境、人的環境ごとに「なぜそれを用意するのか」「なんの目的でその配置にするのか」紙とペン、机と棚をどんな意図でどのように配置するのかを保育者が考えなければならないと改めて感じた次第です。

保育環境の改善は、保育者の待遇改善、金銭的にはもちろん、それ以外の就業環境についても改善が図られることが、保育の質を高めていくうえで重要になってくるのだと感じています。

○ 歳児別サポートブック研修会

日時 : 令和3年6月2日(水) 13:00~16:30(3歳未満児)
令和3年6月3日(木) 13:00~16:30(3歳以上児)
場所 : オンライン開催(ZOOM)

世界文化社より改訂発行となった歳児別サポートブックについて、各執筆担当者を講師として2日間にわたり研修会が行われました。本広報では1日目、2日目に分けて研修の内容をお伝えします。

◎ 1日目(3歳未満児について)

平成27年の歳児別サポートブックから、指針・要領の改訂が行われ、特に0歳児については従来の5領域から3つの視点への大幅な変更がありました。また1,2歳児についてもより未満児の実態に即した内容となりました。

実環境とのすり合わせができた一方、サポートブックのような指針・要領と実際の指導計画の間を取り持つような本については、大きな変更を埋めるため執筆された先生方の多大な努力があったと感じました。

そのような中でも保育の真のところは昔も今も変わらず、変わるのは環境と視点、また保育者からのアプローチの仕方なのだと考えます。

サポートブックをはじめ、ツールは作って終わりではなく、いかに活用していくかが重要です。本改訂に携わった先生方の思いが多くの現場に伝わることを願います。

◎ 2日目(3歳以上児について)

6月3日サポートブック研修会2日目が行われました。3歳児クラスの教育については田和由里子氏、遠藤浩平氏、岩橋道世氏よりご講義いただきました。2歳～3歳の教育の連続性、3歳児から始まる集団教育や、写真を交えながらの目的別ドキュメンテーションの活用方法を教えていただきました。4歳児の教育については、矢野理絵氏は年齢別の絵の発達とそこから読み取れる子どもの心理について、また、永田久史氏は実際にサポートブックを使用しドキュメンテーションの作成の仕方、振り返りと振り返りによる見通しの立て方の大切さを話していただきました。5歳児の教育については只野裕子氏、平山猛氏、田中啓昭氏からご講義いただきました。5歳児の小学校接続のための資質能力を育む教育の必要性、それを実践するための指導計画の作り方、またその結果を伝えるためのツールとしてSNSを使用したドキュメンテーションを紹介していただきました。執筆者本人からお話をいただくことで、サポートブックの活用法をより具体的に理解することができました。

○ 第70回定例会

日時 : 令和3年6月24日(木) 16:30~18:00
場所 : オンライン開催(ZOOM)

新体制となって最初の定例会が開催されました。内閣府齋藤参事官による行政説明、内閣府審議官藤原氏と当会、会長坂崎隆浩氏による対談が行われ、併せて1時間と限られた時間ではありましたが、齋藤参事官から認この現状と課題をテーマに、新子育て安心プランの概要や少子化社会対策大綱、認こにおける子育ての支援、保育を取り巻く現状(人口減少地域等における保育など)についての報告、今後の認この役割、幼児教育スタートプラン(仮称)の説明がありました。藤原内閣府審議官と当会長坂崎氏との対談では、保育士、保育教諭の質の向上や、少子化について骨太方針や個人的に感じている事、今後の展開などを藤原審議官から聞くことができました。

保育総合研究会作製(7プロポジション)の内容についても対談の一部で話があり、また、前会長椛沢早苗氏、岩橋道世氏からもこども保育要領への一本化についての当会員メンバーの熱い思いを語ってもらえました。最後に、藤原審議官から子ども庁や認だからこそできる制度等大いに活用し、地域の為、子どもたち、子育て支援に前向きに取組みを期待するとの言葉がありました。

○ 新体制発足

5月26日の総会で役員改選が行われ、新体制が発足しました。新会長には前副会長の坂崎隆浩氏が就任し、初代会長の椛沢幸苗氏は顧問・相談役となりました。役員および各部会も再編成され、益々活発な活動が展開されていくものと思われます。

◎ 保育制度部会

部会長挨拶 古川 豊

保育制度が、それぞれの地域で実践される子どもの育ちや子育ての支援の重要な柱になっていることを思うと「保育制度部会」を担うことになり不安を感じざるを得ません。しかし、保総研の皆様の提言でまとめられた7プロポジションでは保育界の希望に満ちた未来予想図が書かれていて心強く感じました。子ども庁にしても未就園児の支援についても7プロポジションに書かれていたことが、現実化するのではないかと思わせるように少しずつ世の中の意識が変わってきているように感じます。これから皆さんと一緒に様々な課題を話し合い、変わりゆく時代に合った望ましい保育界を思考し、現実化することを目指していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◎ 保育科学委員会

部会長挨拶 岩橋 道世

このたび、保育科学部会長を仰せつかりました岩橋道世と申します。宜しくお願い致します。保育科学研究は、以前から保育総合研究会ならではの、現場だからできる研究をやっているという実績のある部会です。その研究に携われることを大変光栄に存じます。また部長という役職の責任の重さを改めて感じている次第です。

多くの皆様に保育科学委員会にご参加頂き、一緒に保育の研究、保育の質の向上に努めていきたいと思っております。

◎ JAMEE.S(ジャミーズ)

部会長挨拶 高月 美穂

JAMEE.S委員長を経てこの度部会長となりました。次世代JAMEE.Sは好奇心旺盛の先生

方が多く、語りだすと時間を忘れてとことん話す、そんなメンバーです。近年はコロナウイルスのため思うような活動が出来ませんでした。徐々に活動を再開し、目まぐるしく変化する国の動向や子どもを取り巻く社会の動きについて学び合っていきたいと思います。

○ 20周年記念誌、7プロポジション発行

保育総合研究会 20周年記念誌が発行され、これまでの歩み、記念事業報告などが記されました。7プロポジションは現状の分析と 2040 年にむけて業界、現場、保育者が向かう方向性が示されています。

○ 保総研方式の新たな公開保育

保育総合研究会方式での新たなシステムが作られました。全国に飛び回りより良い保育環境を作るための立役者として「公開保育アンバサダー」のプロジェクトが開始されます。このプロジェクトを通して質の高い保育の専門性とコミュニティ構築の専門性を身につけ、全ての子ども達を取り巻く環境をより良いものにしていければと考えます。日程等は以下の通りとなります。

◎7月20日(火)10:00～12:00 第2回公開保育アンバサダー会議
(アンバサダー希望者は全員参加)

◎8月30日(月)10:00～17:00 公開保育アンバサダー資格取得研修
(講師) 乳児教育(静岡大学 矢野先生)
幼児教育(椛沢先生)
マネジメント(中村学園 那須先生)

◎9月28日(火)10:00～17:00 公開保育アンバサダー資格取得研修
(講師) ファシリテーション(神戸大学 北野先生)
保総研公開保育方法論(坂崎先生)

受講内容⇒12時間研修(本年研修)+1日自園公開(3年以内)+1日他園仮指導(3年以内)

会 費⇒15000 円/人

締め切り⇒7月21日(事務局まで)

保育総合研究会 事務局

〒574-0014 大阪府大東市寺川1-20-1

社会福祉法人 聖心会 幼保連携型認定こども園 第2聖心保育園内 永田 久史

Tel : 072-874-0981 Fax : 072-874-0982 Mail : zenkichi@apricot.ocn.ne.jp